

2023年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(秋期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ 東洋・日本美術史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受 験 記 号 番 号	
-------------	--

成績	績
----	---

2023年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(秋期・一般選拔)問題

專 門 科 目 I (東洋・日本美術史)

一、「かたちを写すこと」の意義について、自身の関心に沿った具体的事例をあげながら論じた上で、「美術の役割」に論及しなさい。

受 験 記 号 番 号	
-------------	--

受験記号番号	
--------	--

二、各設問の指示にしたがって答えなさい。

問題 1

次の文章は、『図画見聞誌』巻第三の一節である。これを読み、書き下し文を作成しなさい。

鄭元方，字子正，京師人。官至內殿承制，善畫章虫，備究飛翬，潛分造化，恒於妙藝，
藹播佳名。然而著意者不及疏略，蓋或點綴過當，翻為失真也。頗有圖軸傳於世。

問題 2

次の資料は、白井華陽著『画美要略』（一八三二年序）の一部である。本文の六行を現代日本語に訳しなさい。

南湖南溟西
湖附

春木南湖名鯤字子魚別號幽石江戸人善山水簡
 淡雅秀筆工花鳥馳名于遠邇其子南溟名秀熙工
 山水花卉南湖弟西湖名晁敬善山水花卉
 梅泉曰余少時於此汀先生所觀南湖所畫花卉
 以爲清人筆因問先生始知南湖名後數觀其山
 水主用墨筆姿老勁有雅韻淡得海以西之風格

受験記号番号	
--------	--

三、次の項目について略述しなさい。

A、清涼寺釈迦如来像

B、生母(じぼう)

C、武士と博物学

受験記号番号	
--------	--

D、シミュレーション・テスト・プログラム

E、遠近法